

# 令和2年度 学校経営方針(抄)

たつの市立神部小学校

## 第1 学校経営の基本的な考え

人権教育・特別支援教育を核に、すべての児童が、自己理解・他者理解を深め、共に生きていこうとする学校文化を構築していく。そのために、

- ①すべての教育活動のねらいに、人権の視点をもたせること
- ②人権を尊重した生き方につながる人権教育の在り方を研究し、推進すること
- ③特別支援学級について、児童・保護者の共通理解をはかること
- ④インクルーシブ教育の理念に基づいた特別支援教育の在り方を研究し、推進すること
- ⑤教師自らが人権感覚を磨くとともに、あらゆる機会を通じて、児童の人権意識を高め、ていくことをめざした指導を行うこと

を、平素から心がけておかなければならない。

また、道徳教育・ふるさと教育を核に、地域の中で豊かな心を育むとともに、自らのよさに気づき、その長所を伸ばすために、互いに認め、高め合いながら、主体的・協働的に学ぶ教育を推進する。そのために、

- ①支え合い、認め合う風土を、学級の中に根付かせること
- ②可能な限り、神部の「ひと・もの・こと」を活かした授業を展開すること
- ③教師自らが温かな眼差しを持って、あらゆる機会を通じて、児童の道徳心を培い、よりよく生きていこうとする態度を養っていくことをめざした指導を行うこと

を念頭に、学級経営や教科等の指導にあたらなければならない。

さらに、新学習指導要領実施を見据えて、

- ①これまでの研修を継続し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導・評価の在り方を研究し、推進すること
- ②「国語科」を中心に、各教科等の指導・評価の在り方を研究し、推進すること
- ③「プログラミング教育」についての研究を推進すること
- ④確かな学力の育成を推進していくため、「朝の学習」や宿題の在り方について共通理解をはかるとともに、学習習慣や生活習慣等の定着をめざした取組を推進すること

に、力を注いでいかなければならない。

以上を踏まえ、次に示す学校教育目標の達成をめざした学校経営を進めていく。

## 第2 学校教育目標

人権尊重の理念のもと、「知・徳・体」の調和のとれた児童の育成  
ふるさと「神部」に誇りと愛着を持ち、心豊かで自立した児童の育成

### 【校訓】 (本校教育の象徴)

「元 気 よ く」 …………… 知的好奇心・探究心が旺盛で主体的に学ぶ子

「仲 よ く」 …………… 人格を尊重し合い、社会性豊かな子

「力 い っ ぱ い」 …………… 心身を鍛え、自主性・自律性に富み、忍耐強く、実践力のある子

## 1 めざす児童像

### 【元気よく】

- (1) 意欲的に、忍耐強く学習に取り組む子  
ア 研究推進委員会による定着の推進をはかる。

### 【仲よく】

- (2) 自他の生命や人権を大切にするとともに、身近な人に感謝の気持ちを持つことができる子  
ア 道徳教育や体験活動等の一層の充実をはかり、豊かな心を育む。  
イ 特別活動における自主的・実践的な集団活動を通して、望ましい人間関係の構築をはかるとともに、他者への思いやりや感謝の気持ちを育てる。  
ウ 特別支援学級児童並びに通常学級在籍の特別な支援を要する児童の教育的ニーズを全教職員が把握し、きめ細かく適切な支援・配慮を行えるようにするとともに、児童間の交流を積極的にはかり、相互理解を促進する。
- (3) 郷土に誇りと愛情をもち、自然や伝統文化を尊重する子  
ア 地域行事への積極的な参加を促す。  
イ ふるさと教育を通して郷土愛を育成する。

### 【カいっぱい】

- (4) きまりを守り、心身ともに健康で、自律的判断に基づいて行動する子  
ア 生活指導委員会による定着の推進をはかる。

## 2 めざす学校像

- (1) 神部の伝統文化や豊かな自然、人材を活用して、地域とともに歩いていく学校  
(地域に開かれた学校)  
ア 総合的な学習の時間(生き活きタイム)を核とする「ふるさと教育」を推進する。  
イ 学校行事等における地域住民の参画と交流を促進する。
- (2) 個性を伸ばし、夢や目標の実現に向けて力を発揮できる学校  
ア 子どもたちの日々の努力や挑戦を奨励する。  
イ キャリア教育の充実をはかる。
- (3) 人権が尊重された温かい学校  
ア 道徳の時間を核として、「道徳心」や「人権意識」の向上をはかる。  
イ 特別支援教育を核として、「個性を尊重し、共に生きる社会」の実現をめざした人権教育の推進をはかる。  
ウ 子どもたちの「善行」や「誠実さ」、「思いやり」等を奨励する。

## 3 めざす教師像

- (1) 高い専門性と指導力を持ち、力量を高めようと絶えず学び続ける教師  
ア 「国語科」、「人権教育」を中心に、これまでの研修内容を継続するとともに、校内研修を活性化し、本校児童の課題解消に向けた教育を実践する。  
イ 「分かる喜び」、「できる楽しさ」を実感できる学習活動を展開する。
- (2) 常に人権感覚を磨き、心豊かで、児童・保護者の願いや信頼に応える教師  
ア 子どもの人権を守ることを第一に考えた言動を心がける。

- イ 子どもにとって、何が最善か考えた言動を心がける。
- ウ 些細な子どもの変化（個人の変化・集団の変化）にも早急に対応できるように、平素から「児童理解のアンテナ」を高くあげておくよう心がける。
- エ 子どもの学校での様子を保護者に伝える。
- オ 学級経営の方針や取組について保護者に伝える。

(3) 「チーム神部小」の一員としての自覚を持ち、さまざまな状況に対して、誠意をもって、迅速・的確に組織的に対応できる教師

- ア 「報告」、「連絡」、「相談」の徹底をはかる。
- イ 各種委員会の機能を強化し、協働して学校運営にあたる。
- ウ 平素より教師間のコミュニケーションを活性化し、課題に対しては連携を密にして、組織的に対応する。
- エ 危機管理意識を高め、自然災害や不審者から児童を守るための訓練や研修を重ね、関係諸機関との連携をとりながら、安心・安全な学校づくりに努める。
- オ 本校のよき伝統と校風を継承しつつも、時代の変化や社会の要請を敏感に受け止めながら、新たな神部小学校の教育活動を創造していこうとする。

かん	…… 感謝の気持ちで	…… ありがとうございますの心	
べ	…… ベストをつくし	…… 力いっぱいがんばるチャレンジ精神	
っこ	…… 心一つに	…… みんな仲よし、わくわくする学校	
た	…… 大切な命と時間	…… 自他の命を守り、時間を守る（集団生活のルール）	
い	…… いっぱいあいさつ	…… 温かい人間関係づくりは、あいさつから	
こ	…… 心も元気	…… みんな元気で美しい学校（自尊感情）	